

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年07月10日

計画の名称	大規模盛土造成地の耐震化の促進（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	松山市													
計画の目標	災害への対応と市街地の防災対策を行うことにより、安全・安心な住まい・まちづくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		103	A	103	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)		(R7末)
1	大規模盛土造成地の変動予測調査（第二次スクリーニング）を実施し、結果の公表率（ホームページ掲載）を0%から100%へ増加させ、地域住民の関心を高める。 第二次スクリーニングを実施し、結果をホームページへ掲載する。 第二次スクリーニング結果のホームページへ掲載した大規模盛土造成地数／大規模盛土造成地数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	松山市	直接	松山市	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査（松山市）	大規模盛土造成地の変動予測 調査（第二次スクリーニング 計画作成、第二次スクリーニ ング）	松山市	■	■	■	■	■	103		－	
												小計						103		
											合計						103			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業実施主体にて実施。	令和7年度
	公表の方法
	市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地2箇所の変動予測調査（第二次スクリーニング）を実施し、結果を公表することで地域住民の関心を高めることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後は、定期的な経過観察を継続し、異常が認められた場合は改めて第二次スクリーニング実施の必要性等を検討することで安全・安心な住まい・まちづくりの実現を目指す。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	